

広島県中小企業家同友会 尾道支部 会報誌

【尾道支部 2020 年度スローガン】 自社のために、同友会を活用しよう！～ 課題を持ち寄り、共に解決しよう！～

## Onomichi hanpu.

【新会員紹介】

### 次世代につなげる役割。

(特非) 工房おのみち帆布 理事長 島田 美鈴 氏



#### 今月の見どころ

4月支部例会は「会社経営の組織づくり」についてラグビーのチームづくりから学びました。気持ちよく仕事ができる環境を整えることの重要性に気がつきました。政策環境委員会では、ポストコロナ・ウィズコロナの時代の経済社会の変化に対応するために事業再構築補助金について勉強会を開催しました。採択されるにはハードルとリスクをクリアできる経営体質と経営者の強い意志が必要かもしれません。荒波は続きそうです。同友会尾道支部のスローガンは「自社のために、同友会を活用しよう！」です。同友会尾道支部には、課題を持ち寄り、共に解決していく環境があります。

#### INDEX

- P2……………4月支部例会
- P3……………新会員紹介
- P4……………政策環境委員会「緊急勉強会」
- P5……………青年部会例会（総会）
- P6……………支部理事会報告
- P7……………行事案内
- P8……………新型コロナウイルスに関するお知らせ

会社経営の組織づくりとは

## ラグビー部監督から学ぶ「ワンチーム」の作り方

■講師 尾道高校ラグビー部監督 田中 春助 氏

■とき：2021年4月15日（木）19:00 ■会場：Zoom

### 気持ちよく仕事をする環境を

自分はラグビーがどのようなスポーツかわかりませんでした。ですが、田中さんの話を聞いてラグビーはとても興味深いスポーツになりました。

会社の経営者とラグビー部監督との共通点が多くありました！

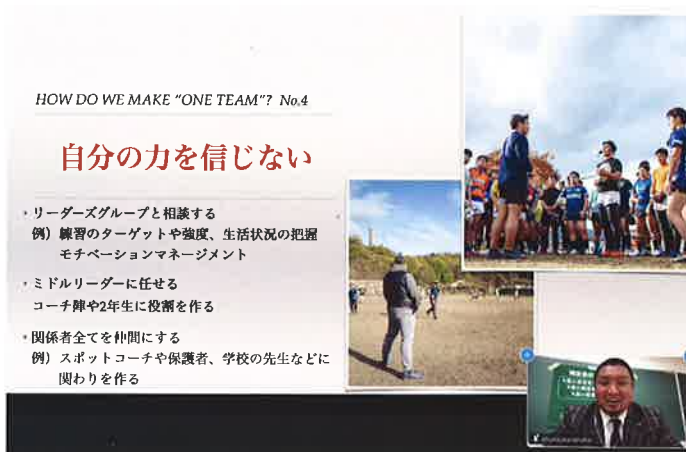
ラグビーでは個人の役割があって足が速い人はウィング、バックスはチームの最後の砦となるため体を駆使して相手の攻撃をしっかりと受け止めなければいけないポジションです。

これも会社経営と一緒に、会社の部署にそれぞれの役割を与えていること、その仕事の向き、不向きなのかをはかるといことも経営者の仕事だと思いました。

そして「個」と「全」のバランスを大事にしていること。「個」の問題を「全」を利用して解決するということ。自分の長所と短所を知ること。強みでは仲間に貢献して弱みは助けてもらう。ということなどの多くがラグビーと会社経営に共通している部分です。

そして田中さんは自分の力を信じないということです。リーダーズグループと相談して、その人に役割を持ってある程度はそのリーダーに任せてあげるといこと。これも会社経営者にとってはトップダウンで、リーダーその人に任せることが重要だと思いました。そして、1番重要なのがその人とちゃんとコミュニケーションをとるといこと。自分はそれがなければよい経営者とはいわないと思いました。もっとボトムアップして、社員の意見を吸い上げて、社員と自分自身も気持ちよく仕事をするのが重要なのではないかと思います。

(有)徳永商店 徳永 倫久





## 次世代につなげる役割。

(特非) 工房おのみち帆布 理事長 島田 美鈴 氏



### ◎自己紹介をお願いします。

#### 数々の経験後、帆布との出会い。

昭和42年3月生まれ、因島田熊町出身です。因島高校へ進み、その後、岡山の中国短期大学で栄養士の勉強をしていました。卒業後、福山市の大門にある会社の研究室に就職し、カツオブシの検査をする毎日を過ごしていました。

その頃主人と出会い、結婚し、尾道に住まいを移しました。2児を授かり、子育て中に就職しましたが、なかなかフルタイムで働くことが難しく、退職することになりました。その後、パートとして尾道短期大学(現尾道市立大学)の学食で働くことになりました。ちょうどその時ですね、木織さん(元おのみち帆布理事長)に出会ったのは、木織さんが学食の運営をしていたので、その時からすぐお世話になっていました。その後、学食からは撤退しましたが、そのまま木織さんが経営する喫茶店で働いていました。ちょうどその頃から尾道帆布を制作する事業が始まりましたので、徐々にお手伝いをするようになり、だんだんと忙しくなってきたので工房おのみち帆布ではたらくことになり、今に至ります。最初に働き出してから、17年が経ちましたね。

### ◎仕事内容を教えてください。

NPO 法人工房おのみち帆布は、向島にあるたった一件残った帆布製造工場である尾道帆布株式会社で作られる帆布を使って製品を手作業で製造しています。尾道帆布の普及と尾道のまちを盛り上げ、活性化するために、帆布で様々な製品を作っています。年商はあと少しで1億円、現在は9千万円強といった感じです。現在従業員は10名で製造から店舗運営まで行なっています。

私自身は去年6月から理事長に就任いたしましたので、以前は製作作業が主でしたが、今は営業や全体の取り仕切りが主な仕事になっています。とはいえ、もちろんまだ縫製作業もしています。

コロナ禍により、ワークショップは全然できなくなってしまいました。以前は社会科見学や中学生職場体験や商店街のお祭りなど、イベント事がたくさんあったのですが、それらも全てなくなってしまったので、寂しいですね。早くまたできるようになればいいんですけど。コロナ禍においては、マスクをいち早く作り始めましたね。おうち時間が増えた関係で、家で使えるインテリア関係の製品を新たに増やしたり、オンラインショップを強化したりしました。また尾道出身の学生さんが帰省できない状況だったので、市が行なった尾道出身学生支援BOXに協力もいたしました。

### ◎仕事のこだわりは？

工房おのみち帆布は、尾道で織った帆布を使って、尾道で作り、尾道で売るというコンセプトの元、運営しています。それは尾道にもっと人を呼び、盛り上げていきたい、尾道帆布と共に一緒に成長していきたいと願っているからです。製品的にはスタッフ一人ひとりの技術を上げて、妥協しないものづくりをしています。縫製技術や裁断技術を含めて、一から見直し、最新の注意を払って作業しています。スタッフの技術は本当に高いので、私は安心して縫ってもらっています。

私たちは「いいものを長く使って欲しい」と思っています。オーダーメイドの商品が多いので、お客様も気に入って何度もリピートして下さる方も多く、私たちも嬉しく思っています。また製品は修理も承っておりますので、直して使い続けたいという方もたくさんいらっしゃいます。そのようなお客様を大事にして、長く使っていただけるように頑張っています。長く使い込んで出てくる「味」を楽しんでいただけるものを作り続けていきたいですね。

### ◎最後に、夢を聞かせてください。

仕事面においては、前理事長の木織さんの力がすごかったので、私は次の世代によりよくつなげることが目標です。店を続け、次の人につないで、おのみち帆布がよりよくなればと思います。私一人では何もできないので、みんなに協力してもらって、なんとか頑張っています(笑) 動いている機械を展示したり、尾道帆布生地 of 製造工程の流れがわかるような、そんな展示もできたらいいねとスタッフみんな話しています。手間暇かけて作られる尾道帆布に誇りを持って仕事しています。

個人的には家族旅行がしたいですね、たくさんいろんなところに行きたいと思っています。あと孫の結婚式まで元気でいたいですね(笑) みなさんぜひお店に遊びに来てくださいね。

ありがとうございました。(文：上田 / 写真：麻生)



## 4月緊急勉強会「事業再構築補助金について」

■講師：池永経営会計税理士法人 中小企業診断士 鉄本 一生 氏

■とき：2021年4月20日（火）19:00 ■会場：Zoom

### 勇気づけられた

今回の勉強会は大型補助金の説明会にも関わらず、会員の参加者が少ないのは書類作成の難しさをすでに感じているように思いました。

私は今回の事業再構築補助金は、4/30 提出の一発目からチャレンジして出していこうと考え、勉強会に参加しました。3月に初めて聞いた時、「この補助金は!？」と驚きを隠せませんでした。ものづくり補助金で数年もかけて予算化していた1兆1千億超という補助金が、たった2年で消化しようということだったからです。（間違っていたらすみません）

鉄本さんのお話は、とても分かりやすく、初めて本件に興味をもった人をはじめ、既に書き始めている私にもとても有意義な勉強会でした。勉強会に参加して最もよかったのは、今回の補助金書類作成に自信が付いたことです。特に勇気づけられたのは、補助金申請では、経営者の想いが書かれているものも評価になるということです。（コンサルに頼った綺麗な文章よりも良いというお話）

ものづくり補助金とちがい、国も我々中小企業も初めての取組みの為、気持ちとしては頑張っていこうと思いましたが、今回の補助金では、鉄本さんがおっしゃった非常に珍しい建物の撤去と建設も補助対象となるとのことで、そこもしっかり狙っていきたく思いました。加点テクニックについても、緊急事態宣言が出ていない広島県でも視点を替えると加点があるという情報など書類作成のポイントを整理することが出来ました。

鉄本さんのお話の中で、審査員が中小企業診断士という情報もあり、経営者としての想いとフレームワークなどロジックとしっかり加点されるように頑張っていこうと思えます。また、日本の時流がどこに向かっているかという面も大事とのことで、DXや脱炭素を盛り込んだ計画も意識して書いていこうと思えました。是非、勉強会参加者として補助金採択されるよう、残された時間で頑張っていこうと思えます。ありがとうございました。



(株) タテイシ広美社 立石 良典







## ■ 開会挨拶（杉原副支部長）

ゴールデンウィーク、尾道は入出が割とありました。経済的には少し上向いてきたと感じていました。その反面新型コロナへの感染が増えています。どうしたものか。5月後半に向け、厳しい状況を想定した経営が求められそうです。こんな中でも経営を維持し発展させるべく日々邁進しましょう。話したいことはたくさんあるのですが、本日コロナのステージが3に引き上げられました。これを受け、足早に理事会を進めていきましょう。本日もよろしく願いいたします。

## ■ 確認・報告事項（川口組織委員長）

※4月例会は「会社経営の組織づくりとは」をテーマに開催しました。講師は尾道高校ラグビー部監督の田中氏でした。参加者は28名でした。分かりやすい講演で、ワンチームになるためには、社員の意見や意思を尊重しながらボトムアップする組織づくりがいかに大事か、すつと頭に入ってきました。

※5月支部総会（河本総務委員長）

・昨日総務委員会、総会議案への質問意見を求めることが e.doyu にあがっているが閲覧者が少なく、支部全体で支部総会を行う雰囲気がない。情報をもう一度配信してほしいと意見がありました。これを受け、本日、メールの再送と委員会 LINE 等による情報配信を行いました。これにより質問意見の受付期間を5/10（月）中に延長しました。

## ■ 県理事会の報告（山本支部長）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。

※県総会について、尾道支部は会員の過半数が委任状を提出しています。引き続きご協力をお願いします。※2021年度の役員オリエンテーションは尾道支部の参加目標は8名です。※毎年7月は、中小企業魅力発信月間。7月20日は中小企業の日です。このことを広めていきましょう。※Zoom調査のお願いがありました。尾道支部は私が回答します。ご意見のある方は私か事務局にお伝えください。※5/18に開催される県北のオープン例会で(有)浪漫珈琲の神原さんが報告します。※尾道支部の会員増強は手応えを感じています。4月に入り、一緒に学びたいと思える仲間を2名迎え入れることができました。※ついさきほどコロナ対策はステージ3（第22報）が発表されました。来月の理事会の開催方法は柔軟に対応しましょう。

※2021年度の4月の県全体の会員数は、2,640名になりました。

※「同友会の新型コロナウイルス感染症への対応22報」について事務局が補足説明しました。

## ■ その他

※尾道市立大学から インターンシップの申込状況等（酒井企画委員長）

前回理事会後、尾道市立大学の本荘先生とやりとりをしています。このインターンシップは教育の一環で単位認定されるものです。そのため企業の受け入れ体制については、学生の学ぶ機会が損なわれることが懸念されます。（3名の受け入れが可能か、担当者をつけられるかなど）受け入れ企業の選定に際し、正副支部長会議に相談し、候補企業をピックアップしました。

①候補企業（お声がけ先）は資料の通りでよろしいでしょうか。②参加企業の確定はどのように進めましょうか。

※①について。了承されました。（有）浦島 川口氏が参加表明しました。

※②について。酒井担当理事を筆頭に、正副支部長で役割分担して参加企業の確定を急ぐことになりました。

## ■ 承認事項

1. 入退会の承認（川口組織委員長）

入会希望者2名

（有）洋誠工業 倉谷 誠司氏

紹介者：田頭 秀晃氏

（有）よし正 砂川 温尋氏

紹介者：坂口 公彦氏

退会希望者0名。

※会員数は106名です。

2. 支部総会の役割分担の変更について（河本総務委員長）

新型コロナ対応がステージ3に移行したことを受け、支部総会の開催方法と役割分担について意見交換し次の通り決めました。

※会場の10名定員を厳守します。

※このため、会場から参加予定だった、支部理事と会計監査人の役割分担を見直しました。

※担当を持たない支部理事は、Zoomからの参加とする。

※3つの目的唱和・ビジョンの唱和：三原理事 → 山根副支部長。三原理事はZoomから参加。

※会計監査：会計監査役→Zoomからの参加を打診（事務局担当）

※事務局2名 → 会場からの参加は1名のみとする。

## ■ 委員会・部会の報告

※求人社員教育委員会（小畑委員長）

高校求人に関して、定期的に高校訪問を行っています。高校求人希望の方は、一緒に高校訪問することをお勧めします。ぜひ一緒にください。

## ■ テーマ：わが社の近況報告 進行：浮田議長

※(有)浦島 川口氏とロイヤルインテリア(株) 小畑氏のお二人から自社の近況、課題、これからの取組みについて報告がありました。

まとめ：浮田議長

同友会で学んでいても経営に行き詰っている方もいることも事実です。リアルで会えない状況もあり、相談しにくい環境です。相談するには自分から踏み込んでいかなければなりません。それが苦手な方もいると思います。一社もつぶさないと同友会は言っていますが、理事は会員の近況を聞き出す、引き出すことを心がけましょう。一緒に課題を解決し、発展して、そんな尾道支部でありましょう。

## ■ 閉会挨拶（三原中期ビジョン推進委員長）

昨年までは現状維持を意識しすぎて、何も取り組めませんでした。今年は、コロナのおかげで考えさせられる年になり、全く違うことをやろうと決めました。そういうことをしていたら、わが社は業界とは全く違う動きをしていることに気がつきました。業界の新聞を読みながら、この動きを続けたら、1年後のわが社はどんなクリーニング屋さんになっているか楽しみでなりません。PDCAをしっかりとまわして良い未来をつくっていきましょう。

お疲れ様でした。

## ■ 次回の理事会

6月2日（水）19:00 工房おのみち帆布

# 尾道支部 6月 委員会・部会行事のご案内

## 総務委員会

- 日 時：6月10日（木）
- 会 場：ZOOM
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

## 企画委員会

- 日 時：6月1日（火）
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

## 経営労働委員会

- 日 時：6月22日（火）
- 会 場：Zoom
- ※東部エリア経営指針基礎講座「6 / 3（木）開催」。詳しくは e.doyu にてご確認ください。

## 政策環境委員会

- 日 時：
- 会 場：
- テーマ：

## 青年部会

- 日 時：6月23日（水）19:00
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

## 組織委員会

- 日 時：6月8日（火）
- 会 場：㈱ラトリエ・ドゥ・ボナペティ
- 内 容：会員増強について

## 広報委員会

- 日 時：6月21日（月）
- 会 場：よつば保育園
- 内 容：でべらについて

## 求人社員教育委員会 勉強会

- やっぱり、高校求人をおすすめしますよっ！
- 日 時：6月4日（金）19:00～
- 会 場：Zoom
- 報告者：㈱カープランニング広島 田頭 秀晃 氏
- 内 容：採用の取組みと高卒社員さんの教育について

## 中期ビジョン推進委員会

- 日 時：6月21日（月）
- 会 場：Zoom
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

## 女性部会

- 「女性経営者全国交流会に参加しよう」
- 日 時：6月29日（火） ■会 場：Zoom
- 参加費：8,000円（予定）
- ※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。

## 6月支部例会

### 「自社の事業を定義する 自社のビジョンを社員に伝える」

- 報告者：(有)広島金具製作所 代表取締役 水ノ上 貴史 氏（福山支部長）
- 日 時：6月17日（木）19:00～
- 会 場：Zoom

※新型コロナウイルス感染症対応により開催については追って連絡いたします。



# スケジュール

2021年6月						2021年7月											
1	2	8	10	17	21	21	22	23	29	6	7	8	13	15	20	20	
企画委員会	支部理事会		組織委員会	総務委員会	6月支部例会	中期ビジョン推進委員会	広報委員会	経営労働委員会	青年部例会	女性経営者全国交流会							
											企画委員会	支部理事会	総務委員会	組織委員会	7月支部例会	中期ビジョン推進委員会	広報委員会

## 【新型コロナウイルス関連】

## ～活用しよう！尾道市独自の支援制度をご紹介します～

**現在尾道市では事業者向けに、新型コロナウイルス感染症に関する市独自の支援制度を実施しています。（※尾道市ホームページより一部抜粋）**

### ○新型コロナウイルス感染症に対する信用保証制度

（セーフティネット保証4号・5号・危機関連保証）様式例集（令和3年1月1日以降）

これらの制度は、災害や大規模な経済危機等により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、保証限度額の別枠化を行う制度です。

- ・事業所の所在地を管轄する市区町村長が認定します。
- ・申請後、原則1～3営業日程度で認定証を発行します。

※令和2年新型コロナウイルス感染症によるセーフティネット保証4号の指定期間：令和2年2月18日～令和3年6月1日  
指定期間は3か月ごとに調査の上、必要に応じて延長されます。

令和3年6月1日まで延長されました。

※令和2年新型コロナウイルス感染症による危機関連保証の指定期間：令和2年2月1日～令和3年6月30日

危機関連保証の指定期間が延長されました。

セーフティネット保証の指定期間は、認定申請をすることができる期間ですが、危機関連保証は指定期間内での融資実行となっておりますのでご注意ください。

広島県新型コロナウイルス感染症対応資金の保証申込は令和3年3月31日まで延長されました。

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/26/32756.html>

※上記各支援制度について、詳しくは尾道市ホームページをご確認ください。

今後も随時情報発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

政策環境委員長 徳永 剛志

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F

T E L：084-923-0286

F A X：084-923-0284

e-mail：fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】山本 浩矢

【広報委員長】上田 昇辰



支部例会のチェックや  
参加可否のご連絡は  
e-doyuのスマホ版が便利！



QRコードから簡単ログイン！